

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 音楽 (器楽合奏) 】

項目	書名
	中学校音楽 音楽のおくりもの (教育出版)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	<p>○学習した知識・技能を生かし、個に応じた発展的な学習を進めることで、音楽を愛好する心情を育てる具体的な資料が豊富に示されている。</p> <p>○諸外国の楽器の扱いとの調和を取りながら、和楽器を重点的に取り上げ、双方の音楽文化についての関心と理解を深めながら音楽の良さを感じ取れるように構成されている。</p>
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○各楽器の構造や各部の名称が写真やイラストで示され、楽器の構え方については、複数の角度から写真が掲載され、奏法等の説明がされている。特にリコーダーのサミングは分かりやすい。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○各楽曲には「演奏のポイント」や吹き出しなどを用いて表現を工夫して演奏するための具体的なアドバイスが示されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○各教材には目標が示され、「音のスケッチ」で、～してみようと課題が提示され、主体的に学習活動ができるよう工夫されている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫> ○楽器ごとに「演奏の仕方を身につけよう」で基礎・基本を楽曲とともに学び「合わせて演奏しよう」でグレードアップした学習ができるように構成されている。</p> <p>○各楽器とも時代や曲集等に偏りなく、幅広いジャンルの中から教材を選択し、歌唱共通教材や鑑賞教材の楽曲も掲載されている。「Let's play!」「Let's try!」へと難易度が吟味され、写真や解説から個に応じた指導ができる設定になっている。</p> <p>○リコーダーの楽曲はページの両端に運指が示され、運指の確認がすぐできるようになっている。</p> <p><音楽文化についての理解を深めさせる工夫> ○「名曲旋律集」では、ポピュラーやクラシックの楽曲をリコーダーで演奏し、歌唱共通教材の2曲は箏で演奏することで関連性を図り、音楽文化への理解関心を深める内容になっている。</p> <p>○和楽器について写真入りで演奏中の手元、口元が見やすく分かりやすく掲載され、「日本の楽器と音楽」と題して時代ごとに写真と解説が掲載されている。</p> <p>○巻頭で、それぞれの楽器の名手から中学生へのメッセージが掲載されている。</p>
資 料	<p>○演奏家の演奏場面の写真とメッセージ、音楽制作現場の写真が掲載されている。</p> <p>○巻末に「リコーダー運指表」「ギター&キーボードコード表」等が見開きで分かりやすくまとめられ、37種のコードに対応するギターのダイアグラムとキーボードの位置、演奏者が実際にコードを押さえている写真が掲載されている。</p>
表 記・表 現	<p>○和楽器においては、五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されている。</p> <p>○楽器の基本的な奏法が写真やイラストを使って説明されている。</p> <p>○各教材には目標が示され、巻末には「いろいろな用語、記号」が掲載されている。</p>
総 括	<p>○3部で構成されるすべての教材には演奏のポイントが示され主体的に学習できるよう配慮されている。</p> <p>○リコーダー、箏、三味線を学習するコーナーには、関連する鑑賞教材が掲載されており、表現と鑑賞の領域を横断する教材が示されている。</p>

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 音楽 (器楽合奏) 】

項目	書名 中学校器楽 中学生の器楽 (教育芸術社)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○学習指導要領の「内容」に示された指導事項及び〔共通事項〕との関連が分かるように「音楽学習MAP」を示すとともに、音楽を愛好する心情を育て、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすために、様々な奏法について具体的な資料が示されている。 ○5種類の和楽器を取り上げ、我が国の伝統文化について生徒が主体的に学習し、親しみながら理解を深め、音楽のよさを感じ取るように構成されている。
特色	<p data-bbox="422 638 1069 672"><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p data-bbox="422 683 1428 772">○各楽器の構造や各部の名称が写真や図、イラストで分かりやすく説明されており、楽器の構え方については、複数の角度からの写真が掲載され、奏法などの説明がされている。</p> <p data-bbox="422 784 1013 817"><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p data-bbox="422 828 1428 929">○「アンサンブルセミナー」では具体的な目標が示され、「ここが分かればGrade up!」は思考力・判断力、表現力につながる助言が示され、曲の構成をパートの役割、〔共通事項〕と関連させながら思考・判断する場面も設けられている。</p> <p data-bbox="422 940 997 974"><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p data-bbox="422 985 1428 1075">各教材には、目標とする学習内容や、「学習の窓口」「Q&A」「音を聴いて確かめよう」等に、学習に必要な情報が示されており、また演奏の手順がわかる写真や説明も示されている。</p> <p data-bbox="422 1086 957 1120"><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <p data-bbox="422 1131 1428 1220">○「Let's play instruments!」で各楽器の基礎・基本を楽曲とともに学び、アンサンブルセミナー、アンサンブルではグレードアップした演奏ができるよう構成されている。</p> <p data-bbox="422 1232 1428 1299">○「Q&A」「ここが分かればGrade up!」等のコラムでは、小学校で身に付けたことや基礎的な学習内容を確認し、繰り返し学習できるようになっている。</p> <p data-bbox="422 1310 1013 1344"><音楽文化についての理解を深めさせる工夫></p> <p data-bbox="422 1355 1428 1444">○箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の特徴や奏法について「音を聴いて確かめよう」「和楽器こぼれ話」などのコラムで、楽器の特性や奏法、また姿勢や礼儀などについての情報も掲載されている。また、和楽器を扱ったアンサンブルも掲載されている。</p> <p data-bbox="239 1512 399 1545">資料</p> <p data-bbox="422 1456 1428 1534">○巻頭では、「演奏家の写真とメッセージ」「リコーダーとギターが活躍する曲」「尺八と篠笛」の写真が掲載されている。</p> <p data-bbox="422 1545 1428 1601">○巻末では、「リコーダーの運指表」「ギターのコードネームとダイヤグラム」「音楽の約束 (楽典)」「日本の伝統音楽の楽器編成 (写真付き)」が掲載されている。</p> <p data-bbox="239 1691 399 1724">表記・表現</p> <p data-bbox="422 1635 1428 1769">○和楽器においては五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されている。 ○楽器の基本的な奏法が写真やイラストを使って説明されている。 ○楽器の基本的な奏法を視覚的にとらえた写真や図でわかりやすく説明されている。 ○アンサンブルの曲には「共通事項」に関連した演奏のポイントが示されている。</p>
総括	○全体が4部で構成され、楽器の基礎的奏法についての説明が具体的で、技能が確実に身につけられるよう視覚的にも見やすく、ユニバーサルデザインを意識した紙面づくりに配慮されている。 ○リコーダー、ギター、箏曲、三味線、太鼓、尺八、篠笛の音色を聴くために関連した鑑賞教材が掲載され、表現と鑑賞の領域を横断する教材が示され、生徒の興味関心を高める工夫がされている。